

平成28年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	都市計画(Urban planning)		授業コード	C133201
担当教員名	菅 雅幸		科目ナンバリングコード	
配当学年	3	開講期	前期	
必修・選択区分	建築コース 選択 インテリアデザインコース 選択 環境・地域創生コース 選択	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	特にありません。			
受講心得	配布資料、視聴覚資料の内容を中心に講義を行いますので、休むとわかりにくくなります。必ず出席するように心掛けてください。講義の終わりに課題を出します。内容は講義のまとめですので、必ず作成、提出してください。			
教科書	建築関係法令集 法令編 2016年版			
参考文献及び指定図書	都市計画 朝倉書店 萩島 哲 編、菅 雅幸 他著			
関連科目	ランドスケープ、建築計画、建築法規、流域生体論など			

授業の目的	都市計画を社会常識として知っておくべき内容だけでなく、一級建築士学科試験、宅地建物取引主任者試験、ビオトープ管理士2級試験に出題されている内容に則したつもりである。この講義を機会に、各種の資格取得にチャレンジする事を期待します。
授業の概要	第1回都市計画について必要とされる基本的知識を理解し学びます。第2回目～第6回目までの講義は、1級建築士 筆記試験 学科Ⅰ「計画」、学科Ⅱ「法規」において都市計画が関連している内容に準拠している。第7回目～第9回目は環境配慮、防災計画について解説します。第10回目～第13回目までの講義は、宅建試験「法令上の制限」の内容に準拠している。第14回目、第15回目は環境関連法について解説します。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：都市計画が必要になった理由、最近の身近な都市計画 駅前再開発シリーズ大分、佐賀、梅田(大阪)、東京、博多	配付資料 演習課題
第2週：住宅地計画 近隣分区、近隣住区、都市公園	配付資料 演習課題
第3週：確認テスト	配付資料 演習課題
第4週：都市計画家・都市理論研究者と主な提案	配付資料 演習課題
第5週：建築基準法 法令集の線引き	配付資料 演習課題
第6週：都市計画法1 都市計画法の解説	配付資料 演習課題
第7週：都市計画法2	

		配付資料 演習課題
第8週：確認テスト 東日本大震災をきっかけに自然災害とどう対応して行くべきかについて		配付資料 演習課題
第9週：都市計画マスタープラン		配付資料 演習課題
第10週：宅地建物取引士資格1 法令上の制限		配付資料 演習課題
第11週：宅地建物取引士資格2 法令上の制限		配付資料 演習課題
第12週：宅地建物取引士資格3 法令上の制限		配付資料 演習課題
第13週：宅地建物取引士資格4 法令上の制限		配付資料 演習課題
第14週：確認テスト 自然環境の保全に関わる法制度とそのしくみの全体像について解説します。		配付資料 演習課題
第15週：環境配慮型都市「スマートシティ」		配付資料 演習課題
第16週：防災計画		配付資料 演習課題
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
地域志向科目		
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標

【関心・意欲・態度】	
【知識・理解】	
【技能・表現・コミュニケーション】	都市計画の分野に関連する各種資格取得に必要な基礎知識を網羅しているのでしっかり学習す
【思考・判断・創造】	人間が集団で生活してゆくと何が起こり、何が必要になるどうして行かなければならないのかを学

○成績評価基準(合計100点)	合計欄	100点
-----------------	-----	------

到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	10点		30点
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	30点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	30点		
<p>(「人間力」について)</p> <p>※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。</p>			

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	毎授業ごとに理解度のチェックのため、課題を出題提出してもらいます。
発表・その他 (無形成果)	必ず出席し、提出物を出す。